

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

相談支援事業・地域活動支援センター なびい

こころの病をもつ当事者のご家族のための連続講座①



こちよく関わるために

～発達障害専門家によるおはなし～

なびいでは、ご家族が元気になってもらう講座を毎年企画しています。前回好評だった、発達障害の方々へのコミュニケーションプログラムを、開発・運営されている中村干城氏を今回もお招きします。

当事者であるご本人の世界を理解し、互いにこちよく暮らせるヒントや、具体的な対処法について、そして、本人も家族もそれぞれが「健康に暮らす」ということについて、みなさんと一緒に考える時間をもちたいと思います。

もちろん、発達障害に限らず、こころの病をおもちの方々のご家族に聞いていただいても役立つお話です。ぜひお立ち寄りください。

日時 ● 平成 29 年 1 月 21 日 (土) 13:30～15:30

・ ・ 質疑応答の時間も設けます ・ ・

場所 ● 社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会 法人本部ビル 2F

JR 南武線谷保駅北口より徒歩 2 分

講師 ● 中村 干城 なかむら・たてき 氏

～ 都立多摩総合精神保健センター 発達障害プログラム担当 ～

定員 ● 30 名 定員になりしだい、締め切りとさせていただきます

参加費 ● 無料

申込み ● お電話にてお申し込みください。

なびい 電話 042-571-3103 (火)～(土) 10:00-18:00



社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

相談支援事業・地域活動支援センター なびい

こころの病をもつ当事者のご家族のための連続講座②

家族も本人もこちよく

～タッピングタッチ

ご本人の世界を理解し、こちよく関わることと、ご家族とご本人が健やかであることは深く関わっているようです。そこで、今回は、ご家族とご本人が健やかになっていただける一つの方法として、《タッピングタッチ》というケアをみなさんと体験したいと考えました。

《タッピングタッチ》とは、指先の腹のところを使って、左右交互に、軽く弾ませるようにタッチすることを基本としたホリスティック（統合的）でシンプルなケアの手法です。簡単な技法でありながら、「不安や緊張が軽減する」、「肯定的感情が高まる」、「信頼やスキンシップが深まる」などの効果があるとされていて、これまでも被災支援などにも活用されているそうです。（[タッピングタッチ 公式サイト - タッピングタッチ協会](http://www.tappingtouch.org/whatstt/) www.tappingtouch.org/whatstt/）

今回は、認定インストラクターの方をお招きし、説明を聞いて実際に体験してみます。誰にでもできるおだやかな手法です。お互いこちよくなって、みなさまのご自宅で、こちよく過ごすヒントになればと思います。どうぞお気軽に参加してください。

日時 ● 平成 29 年 2 月 4 日（土） 13：30～15：30

・・・お話を聞いたあと、お互いに体験します・・・

場所 ● 社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会 法人本部ビル 2F

JR 南武線谷保駅北口より徒歩 2 分

講師 ● タッピングタッチ協会 認定インストラクター

定員 ● 30 名 定員になりしだい、締め切りとさせていただきます

参加費 ● 無料

申込み ● お電話にてお申し込みください。

なびい 電話 042-571-3103（火）～（土） 10：00～18：00

